

第 86 回 関東学生選手権 男子競泳 3 部優勝、2 部昇格！！

【昨年 4 部優勝、本年 3 部優勝、2 年連続の快挙】

8 月 3 日(土)～5 日(月) 千葉国際水泳場で行われました。

大学水泳部競泳チームは、公認記録会で、参加標準記録突破した男子 20 名、女子 8 名で、参加いたしました。その結果、男子は、135.5 得点、2 位東京理科大に 41.5 点の大差をつけ、堂々 3 部優勝を飾りました。女子は、残念ながら、無得点に終わった。

●男子

氏名	学年	種目	予選	決勝	順位	得点
谷川 直斗	4 年	100Fr	56"30	55"98	8	1
		200Fr	2'05"88	2'04"46	4	5

100、200 の自由形共に練習の成果を満足以発揮できました。悔いなし！！

村田 陽甫	4 年	400Fr	4'13"80	4'07"37	1	9
		200Fr	1'59"66	1'56"40	1	9

今大会は物凄く気持ちの良い雰囲気泳ぐ事ができて精一杯頑張る事ができました

井上 瑛	3 年	100Ba	1'13"31			
		200Ba	2'37"61			

決勝に残れなくて本当に悔しかった。まだまだ甘い自分を叩き直していきたいです！

林(仏)成胡	3 年	50Fr	24"19	24"19	2	7
		100Fr	55"44	53"57	2	7

個人 2 種目とも 2 位で今までで 1 番悔しかったのでこの借りは必ず返します。

柏木 良太	3 年	400Fr	4'38"16	4'34"53	8	1
		800Fr	タイム決勝	9'38"12	9	0

ベストを出し切れたのはチームの皆さんの応援のおかげだと思います。ありがとうございました。

川上 宏平	3 年	100Br	1'13"43	1'14"61	8	1
-------	-----	-------	---------	---------	---	---

得点できてよかったです！来年は 2 部ですが頑張ります！

田尻 達大	3 年	100Br	1'14"50	1'15"44	9	0
		200Br	2'49"18			

初めて決勝に出ることができ、とても嬉しく、いい経験になりました！

東 賢明	3 年	200Fly	2'14"84	2'14"29	4	5
		200Fr	2'09"28			

8 継で直斗さんと陽甫さんの間を泳げたことは最高の思い出です。

矢澤 寛史	3 年	200Br	2'50"01			
-------	-----	-------	---------	--	--	--

今までの競泳人生の中で、一番最高の舞台上で、一番緊張して、一番楽しいレースでした！

安藤 紀幸	2 年	200Fly	2'26"57	2'21"13	8	1
		100Fly	タイム決勝	58"71	5	4

去年と比べるとあまり良くありませんが、点数を稼げてチームに貢献できて良かったです。

沖 政友	2年	200IM	2'24"12	2'18"79	4	5
		400IM	5'12"19	4'58"27	1	9
目標タイムを達成でき、400IMは思わぬ形で優勝できました。支えてくれた皆に感謝です。						
小林 颯	2年	200Ba	2'32"54	2'32"18	9	0
		100Ba	1'08"55			
来年はがんばります!!!						
竹田 悠馬	2年	200Ba	2'27"68	2'28"26	7	2
		400IM	5'19"56	5'14"88	6	3
自分らしいレースができて二種目とも得点取れてよかった!						
西村 貴浩	2年	400Fr	4'38"99			
		800Fr	タイム決勝	9'40"53	10	0
今シーズンは苦い思いをした。来シーズンは一日も気を抜かない。おなしゃす!						
花島 惇	2年	50Fr	24"22	24"30	3	6
		200IM	2'20"78	2'16"93	2	7
長い距離は得意ではないのですが、何とか食らいつけました(o)50Frでは打倒イム君!						
堀内 啓良	2年	50Fr	24"76	24"68	4	5
		100Fr	55"22	54"52	4	5
50も100も決勝で大ベストを出せて今までの努力が報われて本当によかったと思った						
山岡 奎太	2年	100Br	1'08"24	1'08"01	7	2
		200Br	2'36"59	2'35"00	6	3
どのレースもとても充実していた。来年はさらにハイレベルだが結果を残せるよう精進する。						
石橋 篤希	1年	200IM	2'35"98			
		400IM	5'40"77			
次はチームに貢献できるように頑張ります!!						
佐々木 陽平	1年	200Fly	2'23"54	2'21"12	7	2
		100Fly	タイム決勝	59"10	6	3
1年ぶりのベスト更新でした!(100Fly)						
関口 修二	1年	100Ba	1'05"40	1'04"76	5	4
		800Fr	タイム決勝	9'30"13	5	4
少ないながらもチームに貢献できてよかったです。						
200FR 林・花島・堀内・谷川				1'36"85	1	9
皆の気合いで一位を引き寄せました!結果として勝てて素直に嬉しいです!(谷川)						
400MR 村田・山岡・佐々木・林				4'05"03	3	6
陽介さんと組む最後のリレーだったので気持ちよく泳ぎきれて純粋に楽しかったです。(林)						
800FR 花島・谷川・東・村田				8'12"89	3	6
最終競技を一番の盛り上がりの中でそれぞれが役目を果たし楽しいレースでした(村田)						

裏面に続く

●女子

氏名	学年	種目	予選	決勝	順位	得点
相馬 理莉香	4年	200Fly	2'35"75			
		100Fly	1'09"69			
結果は悔しかったけれど、20年間水泳続けてきて、みんなと練習頑張れて良かった！						
萩原 綾紀	3年	200Ba	2'43"78			
		100Ba	1'16"09			
来年は嬉し泣きが出来るように、もっともっと強くなります。						
吉澤英里奈	3年	50Fr	29"77			
男子二部昇格と共に、感動期待決意が湧き立った。闘いは今から始まっているんだなど。						
嵯峨 寛子	2年	50Fr	31"59			
目標タイムに届きませんでした。この悔しさを来年にぶつけられるよう頑張ります。						
丹羽 真理	2年	50Fr	31"19			
男子2部昇格かっこすぎ！ 来年は絶対この関カレで、この千葉国でベスト出す！！						
野田 夏希	2年	100Br	1'29"46			
		200Br	3'12"61			
悔いなく泳ぐ事が出来ました！ありがとうございました。						
塙 花織里	2年	200Fr	2'29"78			
		400Fr	5'19"93			
後半に課題が見つかったがリレーはベストを出せた。今回得たものを忘れずに頑張ります。						
原田 彩夏	1年	100Br	1'30"84			
初めての関カレで緊張しましたが、とっても濃い3日間で楽しかったです！						
200FR 吉澤・丹羽・相馬(理)・塙				2'00"68	14	0
集中して泳ぐことができた。順位をあげるため、2分を切ることを目標に頑張ります！(塙)						
400MR 萩原・原田・相馬(理)・吉澤				4'59"37	11	
“誰かのために”が心にある時、大きな力を発揮することを知りました。(吉澤)						
400FR 吉澤・塙・萩原・相馬(理)				4'26"65	12	0
100Fr きっかけたけど、この4人で最後リレー組めて、一緒に頑張れて良かった。(相馬)						

【本院大学水泳部／競泳の歴史】

1952年、3部優勝を皮切りに、翌1953年には、2部優勝、1954～1957年まで、1部に在籍、1954年、1955年には、1部2位の成績を収めている。当時の本院水泳部は、水球と競泳を兼ねており、水球も一部に在籍していた。この躍進は、当時、大きな話題になりました。今回の成績から見ると、言わば、それ以来の快挙が期待できるでしょう。

【近年の練習環境の推移】

2010年度、プール内のゴルフ練習場通路をプール敷地外に移設、塩素管理室を設置、トイレの洋式化、風呂の熱源を灯油から都市ガスに変更、温水シャワーの取り付けそして、念願のコースロープの購入、2011年度には、公式大会用スタート台2台の設置など、大学予算や、桜友会、父母会の寄贈をいただき、大学プールの練習環境も大幅に改善されました。

しかし、12月や3月に公認記録会があり、年間を通じでの練習が必要であり、秋から春まで室内プールを求めて、男子部、女子部、成蹊大学、武蔵大学、埼玉大学、藤村学園水泳教室などのプールを借用させていただきました。大変多くの方々にお世話になり、感謝いたしております。その甲斐あって、男子は、昨年4部優勝、今回3部優勝、2部昇格となりました。

【今回の大会総評】

「男子3部優勝、女子得点更新！」をチーム目標として1年間練習に励んでまいりました。複数種目を挑戦させ、底辺向上を行い、競争激化の環境を育ててまいりました。今回の関東インカレでは、チームの雰囲気を高揚させるリレーの高得点や、各種目コツコツ得点し、全種目得点を目指す綿密に練られた作戦が功を奏し、布陣を考えました。

その結果、本番では選手が一丸となりそれぞれの実力をいかんなく発揮し、その結果全種目で決勝に出場・得点し、134.5点という2位の93.5点と圧倒的な差で優勝することができました。個人種目では村田(4年)が200と400の自由形、沖(2年)が400mIMで優勝し、それに加えて運をも味方につけ、団体種目200フリーリレーも優勝することができました。女子は標準タイムを切っている選手が少ないため厳しい戦いになり、無得点に終わりました。しかしその分大きな期待を背負い、食らいついていく姿勢を感じさせるレースが多く見られました。

初出場で決勝に進み、貴重な1点を奪取した川上宏平や、体調が完ぺきではないが、健闘した野田夏希など、チームの勝利に大きな感動を与えました。

出場しない選手も声を枯らして仲間を応援しました。“目標達成のため、チームのみんなのため”という思いを胸に戦った世界水泳に負けないウルトラな3日間になりました。

【来年への期待】

男子は、2部となり、スポーツ推薦の学校が増え、さらに厳しい環境になりますが、リレーでの得点、レース後半の持続力不足の解消、冬場の練習量増の必要があるだろう。

また、女子は、男子の影になることなく、自分に妥協せず、冬場の練習環境も整っているのだから、より意欲的に限界に挑戦する意気込みで、練習に取り組んで欲しい。

ご声援ありがとうございました。

水泳部競泳チーム 主将／谷川直斗 副将／秀嶋紗千子

男子：4年／加藤駿、中村良、村田陽甫。3年／井上瑛、林成胡、生形亮介、柏木良太、川上宏平、岸海斗、関敦尚、高橋龍樹、田尻達大、堤創汰、東賢明、矢澤寛史。2年／安藤紀幸、沖政友、小林颯、竹田悠馬、西村貴浩、花島惇、堀内啓良、山岡奎太。1年／石橋篤季、木藤 舜、佐々木陽平、関口修二、中内 弘

女子：4年／荒井咲紀、相馬旦子、相馬理莉香、豊島唯以、野口育美、野原華子、森彩華、柳美里、渡邊麻菜美。3年／北川菜月、萩原綾紀、宮川日輪子、村田果穂、吉澤英里奈。2年／嵯峨寛子、塙花織里、丹羽真理、野田夏希、福田莉央。1年／相澤 ゆかり、岩崎夏実、鈴木菜沙、原田彩夏、山岡真実子、横山結衣、渡邊 葵。計56名。